

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052-230052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



感謝状を手にする清水さん

人命救助に感謝状

■弁当宅配サービス業者が高齢者の命を救う

市は9月11日、一人暮らしの男性の人命救助に貢献した清水巳奈子さんに感謝状を贈呈しました。「尾白弁当」で働く清水さんは8月7日、市営住宅に住む72歳の男性宅へ昼食を届けましたが反応がなく、会社を通じて市に連絡しました。市職員が熱中症で倒れている男性を発見し、病院に搬送されましたが、命に別状はありませんでした。清水さんは、「声掛けをいつも行うように心掛けているので異変に気付くことができました。助かって良かったです」と話してくれました。

鈴木梅太郎を歌う

■鮫島有美子コンサート

鈴木梅太郎博士の生誕140周年を記念したコンサート「鈴木梅太郎を歌う」が、博士の命日の9月20日、い〜らで開かれました。ウィーンを拠点に活動している、ソプラノ歌手の鮫島有美子さんの協力によって実現したもので、約450人の聴衆は、美しく響き渡る歌声に魅了されながら、郷土の偉人に思いをはせました。鮫島さんと市内の合唱団コールマリーンによる、「荒城の月」や「仰げば尊し」の合唱もあり、会場は大いに盛り上がりました。



合唱団コールマリーンと一緒に歌う鮫島さん



西原市長に受賞の喜びを報告する太田さん

交通安全の向上に尽力

■交通安全功労者交通対策本部長表彰受賞

太田茂夫さん(大江区)が、本年度の交通安全功労者交通対策本部長(内閣府特命担当大臣)表彰を受賞しました。太田さんは、昭和44年に交通指導員に就任して以来、主要道路や通学路での街頭指導や交通安全教室での啓発活動など、多年にわたって交通安全に尽力されています。また、昭和59年からは交通指導員会会長を務め、警察署などとの連携強化に努めながら、交通事故防止や交通安全思想の普及に多大な貢献をされています。太田さんは「関係する皆さんのおかげで受賞することができとても光栄です。これからも精進します」と受賞の喜びを話されました。

彼岸花のじゅうたんが一面に広がる

■坂口谷川彼岸花とかかし祭り

彼岸花とかかし祭りが9月21日から27日まで、坂口川(細江区)で開催されました。今年で2回目となるお祭りは、「彼岸花とかかし祭り実行委員会」が主催。見頃を迎えた赤、白、黄の色とりどりの彼岸花と、地元の有志や小学生たちが作った33体のチャーフィンや芸能人などをかたどったかかしが川岸を華やかに彩りました。代表の桑田雅史さんは、「お祭りを通じて川をもっと大事にもらえるきっかけとなればうれしい」と話してくれました。



見頃を迎えた彼岸花とかかし



市長から感謝状を贈られる笠原さん

ふるさと牧之原のために

■感謝状贈呈式

本市出身で浜松市在住の笠原亮雄さんが、環境保全と太陽光発電の推進費用として市に100万円を寄付しました。9月5日には、市役所榛原庁舎で市から感謝状が贈呈されました。笠原さんは中学時代まで旧川崎町で過ごし、その後、楽器メーカーのヤマハで役員を務め、現在は全国楽器協会顧問として活躍されています。笠原さんは「ふるさとの牧之原市のために少しでも役立てばうれしい」と話しました。

津波に強いまちづくりに向けて

■命を守る防潮堤検討会

牧之原市命を守る防潮堤検討会が9月22日、市役所榛原庁舎で開かれました。検討会は、大学教授や市、国、県、各地区代表などで構成され、市長が会長を務めます。海岸や堤防に植林して大津波に耐えられる防災林を造成する、「静岡モデル」の早期実現に向けた取り組みなどを検討します。来年3月までに計3回の会合を開き、市民との話し合いを通じた「まちづくり」の観点から、命を守る防潮堤の早期整備を目指します。



静波海岸の緑の防潮堤を見学する検討会のメンバー



12年ぶりに開帳された千手観音菩薩立像

12年に一度の御開帳

■最明寺の千手観音菩薩立像開帳

最明寺(勝間田区)で9月21日から23日まで、千手観音菩薩立像が12年ぶりに開帳されました。市指定文化財の千手観音は、江戸時代中期頃から秘仏とされ、伝承では東大寺の大仏建立に尽力した奈良時代の名僧・行基が作者とされています。高さ98.0cm、左右合わせて42の手があり、千年に開扉されています。開帳は地元住民でつくる実行委員会が主催。期間中は大勢の見学者が訪れ、地元の人がお茶やおでんを振る舞いました。